





審査結果報告書

2021年 / 1月25日

主査	氏名	鈴木隆浩	
副査	氏名	青山直善	
副査	氏名	佐藤文子	
副査	氏名	神谷健太郎	

1. 申請者氏名 : DM17016 白川 裕基

2. 論文テーマ :

植込み型除細動器植込み患者の遠隔モニタリングによる心拍変動解析を用いた致死性不整脈イベントの予測に関する臨床研究

3. 論文審査結果 :

白川裕基氏による本学位論文は、致死性不整脈の予測に対する遠隔モニター機能を備えた植込み型除細動器からの情報の有用性について検討を行ったものである。

心室頻拍／心室細動(VT/VF)は心臓突然死の原因となる重篤な不整脈であり、その発症予測は临床上重要なテーマである。そこで、白川氏らは今回の研究で埋込み型除細動器を使用する33症例を対象に、デバイスより送られてくる心拍変動(HRV)とVT/VFの関係について検討を行った。その結果、氏らは NN 間隔の標準偏差の平均値(SDNNi)の平均値、最大値、最小値がそれぞれ一定値を超過する症例が VT/VF 発生の高リスク症例であり、さらに VT/VF イベント発生前に SDNNi の変動幅が減少することを見出した。

本研究は埋込み型除細動器の遠隔モニター機能が致死性不整脈の発症予測に利用できることを示した初めての報告であり、実臨床にインパクトを与える意義深い研究であると考えられる。また、学位審査会における白川氏の発表内容、およびその後行われた審査員との討議内容も十分に評価できるものであった。

以上より、審査員一同、白川氏による本学位論文は学位授与に値するものと判定する。